

令和8年4月20日発行（第201号）

こうじえん

普及センターだより

耕耳苑

いわてアグリ
ベンチャーネット
にも掲載中！

宮古農業改良普及センター TEL：0193-64-2220 FAX：0193-64-5631
岩泉普及サブセンター TEL：0194-22-3115 FAX：0194-22-2806
いわてアグリベンチャーネット <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>



令和8年度のスタートにあたって

宮古農業改良普及センター 所長 安達 雅則

待ちに待った春が訪れ、本格的に農作業が始まっています。生産者の皆様には、この1年事故なく、安全に農作業に従事され、また、穏やかな天候に恵まれ、実り多い年になることをご祈念申し上げます。

さて、生産現場では、飼料や肥料などの農業生産資材価格の高止まりの長期化、去年の記録的な高温・少雨など気候変動に伴う農作物・家畜等への影響、野生鳥獣による農作物への被害など、農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

また、中東情勢の影響により、原油価格高騰、物価上昇、物流コスト増など多方面への影響が懸念されていることから、今後の情勢や国等の動向を注視していく必要があります。

一方で、農作業の効率化、農作業における身体の負担の軽減、農業の経営管理の合理化による農業の生産性の向上の効果が期待されるスマート農業技術や、化学肥料・化学農薬の使用低減、堆肥、緑肥等の活用など環境に優しい栽培技術と省力化技術を取り入れたグリーンな栽培体系への転換などの取組が進められております。

こうした中、普及センターでは、令和5年度から令和8年度までを計画期間とした普及指導計画を策定し、今年度が最終年度となりますが、以下の5つの課題に重点的に取り組んでおります。

- 地域の中核となる経営体の育成
- 新たな担い手の確保・育成
- 水稲・畑作物の生産力の向上
- 野菜生産体制の強化
- 畜産の産地力向上と担い手育成

引き続き、生産者のみなさまには、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年度の普及センターの体制は、今春の人事異動による転入者4名、新採用1名を含む宮古普及センター12名、岩泉サブセンター5名の計17名となります。新しい体制で上記重点課題を中心に活動してまいります。

また、畜産担当が岩泉サブセンターに集約されましたので、宮古地域全域の畜産業務は岩泉サブセンター畜産担当が行うこととなります。

引き続き職員一丸となり、生産者の皆様のお役に立てるよう普及活動を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



令和8年度転入者、新採用職員の紹介

氏名 おばら たかこ
小原 貴子

役職 産地育成課長（宮古）

前所属 久慈農業改良普及センター 産地育成課長

出身地 花巻市

抱負 宮古で勤務するのは初めてですが、少しでも地域に貢献できるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



氏名 ふじわら ちほ
藤原 千穂

役職 上席農業普及員（宮古）

前所属 中部農業改良普及センター 上席農業普及員

出身地 秋田県

趣味 映画・動画鑑賞

抱負 22年ぶりに宮古で勤務します。地域の発展に少しでも貢献できるように努めてまいります。



氏名 にしだ きよし
西田 清

役職 上席農業普及員（岩泉）

前所属 宮古農業改良普及センター 上席農業普及員

出身地 滝沢市

趣味 スポーツ観戦

抱負 畜産（主に乳用牛関係）を担当します。自給飼料生産や牛の飼養管理については、当方にご相談ください。



氏名 こんの ゆめ
昆野 有芽

役職 農業普及員（宮古）

前所属 宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター 農業普及員

出身地 北上市

趣味 音楽鑑賞

抱負 所属は変わりましたが、担当業務は変わりありません。今後とも皆様のお役に立てるよう努めてまいります。



氏名 まつうら あやか
松浦 文香

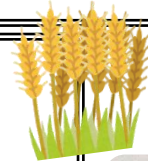
役職 技師（宮古）

前所属 新採用

出身地 岐阜県可児市

趣味 山登り、旅行

抱負 早く業務にも生活にも慣れて、少しでも宮古地域に貢献できるように努力します。よろしくお願いいたします。



令和8年度 宮古農業改良普及センター 活動体制

所長 安達 雅則

産地育成課

産地育成課長 小原 貴子

課員 (5名)

上席農業普及員 松浦 拓也 (総括・野菜)
 技師 佐々木 絢菜 (果樹)
 技師 川原田 直樹 (作物)
 技師 熊谷 瑚斗子 (花き・野菜)
 技師 松浦 文香 (作物)

地域指導課

地域指導課長 多田 典穂

課員 (4名)

上席農業普及員 山本 研 (総括・地域課題解決)
 上席農業普及員 藤原 千穂 (6次産業化)
 農業普及員 昆野 有芽 (新規就農者・担い手育成・花き)
 農業普及員 澤田 葵 (新規就農者・担い手育成)

岩泉普及サブセンター

技術主幹兼所長 及川 修

所員 (4名)

《園芸振興チーム》
 上席農業普及員 細川 健 (総括・野菜)
 主任農業普及員 富永 朋之 (地域特産物)
 《畜産振興チーム》
 上席農業普及員 西田 清 (総括・畜産・経営)
 主査農業普及員 澤田 建 (畜産)

転出者等の紹介

公所	氏名	転出先等
宮古	島 輝夫 (技術主幹兼産地育成課長)	岩手県農業研究センター (生産環境研究部長)
	昆野 善孝 (上席農業普及員)	久慈農業改良普及センター (経営指導課長)
	佐藤 知己 (主任農業普及員)	退職
	戸田 諒 (農業普及員)	久慈農業改良普及センター (主任農業普及員)

春の農作業安全月間が始まりました

【 「これくらい・・・」 少しの油断が事故のもと 】



4月15日から6月15日は、春の農作業安全月間です。

春の農繁期は耕起、代掻き、田植えなど農業機械による作業が多くなることから、例年、この時期に農作業事故が多く発生しています。近年、農業機械では乗用型トラクターや運搬車による事故が多く発生しています。安全に作業を進めるため、以下の内容に気を付けましょう。

- (1) シートベルトの着用、安全フレームの装着など、事前の対策を行う。
- (2) 農業機械の定期点検を行う（点検の際はエンジンを切ってからにしましょう）。
- (3) 作業前に家族や知り合いに作業場所と帰宅時刻を知らせる。

(1)から(3)加え、水分や塩分を補給し、休憩を取りながら作業をするようお願いいたします。

【担当:川原田】



山火事防止運動実施中（5月31日まで）



令和7年は岩手県で27件、宮古管内では4件（宮古市2件、山田町1件、田野畑村1件）の林野火災が発生しました。

県では令和7年に大船渡市で発生した大規模林野火災の教訓を継承するため、火災の発生日である2月26日から5月31日までを「山火事防止運動期間」としています。

春先は野山が乾燥し、風の強い日が多くなるため、火災が発生しやすくなります。「林野火災警報・注意報の発令時は火を使わないこと」、「火入れをするときは市町村長の許可を受けること」、「野焼き・たき火は事前に消防署に届け出ること」、「タバコの吸い殻を投げ捨てないこと」を念頭に、山火事防止にご協力をお願いいたします。水や消火器等を準備して、火の取扱い後は完全に消化するようにしましょう。

【担当:川原田】

農作業シーズン
到来！

農薬の適正使用を徹底しましょう



本格的な農作業が始まります。作物の栽培にあたっては、農薬の適正使用の徹底に努めましょう。

- 1 農薬のラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認した上で使用するるとともに、農薬の使用記録を残しておくこと。
- 2 作物群で登録のある農薬は、適用作物の誤認が無いように注意すること。
- 3 農薬散布器具、収穫容器、農作業用具等の洗浄不足がないか、点検すること。
- 4 上記のほか、農薬の飛散防止や土壌残留等にも十分に注意すること。
- 5 農業生産工程管理（GAP）の取組により、食の安全・安心確保の取組を一層強化すること。

【担当:佐々木】

編集後記

やわらかな日差しの中を巡回していると、道沿いには桜が咲き、季節の移ろいを感じます。当センターは新しいメンバーを迎え、耕耳苑の編集担当も新体制となりました。令和8年度も引き続き宮古地域の農業に関する話題をお届けしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。（佐々木）